

【トピック 1】 5月25日

**ブルガリア共和国大使、国民的歌手と共に来学
東松島市の中学校を慰問**

2年前の交流から、ブルガリア共和国大使一行が本学災害ボランティアステーションを激励に訪れた。これには青山学院大学の仲介もあり実現したもの。一行は理事長・学長との懇談の後、被災に会った学生3名とのミーティングを行った。

午後、トドロフ大使一行は被災地の慰問に出発。ボランティアステーションのコーディネートにより、津波被害で校舎が壊滅した東松島市の鳴瀬第二中学校生徒を音楽慰問するため、生徒たちが間借りしている鳴瀬第一中学校を訪れた。スタッフが手作りの横断幕、ブルガリア共和国や、国民的歌手ヴァリヤ・バルカンスカさんとバグパイプ奏者のペタル・ヤネフさんのプロフィールを掲載したプログラムを配布し、一中・二中の生徒約400名を前で約50分の予定で交流イベントが始まった。

ミニコンサートは、中学生代表による「さくら」のアカペラで大使一行を迎え、バルカンスカさんの歌声、それに応える形で一中の生徒全員による合唱、続いて二中学生全員による合唱で幕を閉じた。予定を30分以上超過しての終了だったが、別れ際、大使一行、バルカンスカさん、ヤネフさんは握手攻めにあい、サインを請われるという盛況で、一行の被災地訪問は無事終了した。